

## 編集後記

今号には合同大会とWPGMの投稿案内を掲載した連絡会ニュースを掲載しましたが、編集サイクルとの兼ね合いで、お手許に届くのが投稿期間に間に合わなかったことをお詫びします。URLや各種MLにて情報を入手されていることと思いますが、連絡会ニュースには大会当日に役立つ情報も盛り込まれていますので、特に修正はせずに掲載することにしました。

話は変わりますが、最近「英語第2公用語化案」が、首相の私的懇談会により提示されたという報道に接しました。理科系大学院の授業は全て英語に、との案も出ているそうです。その趣旨は、日本人の英語力を向上させ、日本の国際競争力を高めるということにあるそうです。

わたしたちは、単に外国人研究者との会話にとどまらず、論文執筆や日ごろの情報入手など、英語を用いる機会は非常に多いものがあります。科学者にとって、英語は事実上公用語化しています。英語の能力がもっとあればと、しばしば感じます。

しかし、英語はコミュニケーションの一つの手段・方法に過ぎないことも事実です。わたしたちは日本語で概念構築を行い、モデルを立て、設計図を引き、実験をし、データを解析することができます。共同研究者や学生との討論を日本語で行い、不自由を感じることはありません。研究成果は出版や国際学会発表の目的で英語化しますが、その質が英語圏の人の手になるものに引けをとることもありません。これは日本語が複雑な概念を十二分に消化できる能力を持っていることと、わたしたちが日本語を基礎にした思考回路を共有していることを示しています。英語の能力も重要ですが、それよりも日本語の能力のほうがより大切な気がします。

いま科学全体が抱える問題点の一つに、高度化の代償に著しい細分化が進んでいることが挙げられます。安易な英語強化策に危惧されることは、日本での科学の細分化をより進めてしまうのではないかということです。わたしの属する専攻では、一年前から「森羅万象セミナー」と称して、地球惑星科学に囚われずに、計算機科学や生命科学等の周辺分野も含めた分野横断セミナーを開いてきました。そこでの経験の一つは、日本語なら遠い専門の話も理解可能だが、英語だとそれが非常に難しくなるということでした。将来、大学院の講義が全て英語で行われ、その教育を受けた人は英語でしか専門を語れなくなったとすると、隣の分野との会話は絶望的に困難になることが想像されます。

もうひとつの危惧は、昨今の国立大学制度の見直しによって浮き彫りになってきた、研究成果の一般の人々（とりわけ納税者）への還元・説明責任の問題と関連します。惑星科学の社会的使命は、金銭的価値を生むことよりも、むしろ、世界観・哲学・夢を創ることにあります。この使命を果たすには、創り手と受け手の間に言語基盤が共有されていることが前提条件です。懇談会案では義務教育全体のカリキュラムは減らすが、英語だけは強化することを提案しています。もしこれがそのまま行われれば、対話の礎としての日本語の力は失われかねません。

今後一切日本語教育は行わず、英語しか教えないならば、上記の危惧は日本人全員が英語を母国語とすることでいずれ解決する、という考えもあるかも知れません。しかしそのとき日本が、惑星科学のような金銭メリットのない学問、広く言えば文化への投資を許すような大国として存在しているかどうか

は疑問に思います。皆さんはどう考えますか？遊星人は日本語雑誌です。日本でも惑星科学に携わる人口が増え、細分化が顕在化しはじめた今、日本語による情報交流の場の役割はこれからますます重要になって行くものと信じます。今号以降、遊星人では一般投稿論文に重点をおいて編集する方針です。以前にもまして真剣に査読が行われ、内容もそれに応えたものになっています。遊星人では一般読者の理解しやすさを重視する立場から、高度に専門的な表現を避けるようお願いすることもあります。これは決して論文としての質を下げるものではないとうことはご理解いただきたいと思います。今後も皆様の研究成果、各種情報の投稿をお待ち申し上げております。

倉本 圭

**編集委員**

井田 茂 [編集長] 倉本 圭 [幹事]

荒川 政彦 飯島 祐一 加藤 工 北島富美雄 木村 眞 小林 憲正 小林 直樹 佐々木 晶

高木 靖彦 高田 淑子 田近 英一 中村 良介 平田 岳史 松島 弘一 米田成一 渡部 潤一

2000年3月25日発行

**日本惑星科学会誌 遊・星・人 第9巻 第1号**

定 価 一 部 1,750円 (送料含む)

編集人 井田 茂 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科  
地球惑星科学専攻

印刷所 〒135-0011 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21

日本学会事務センター内 日本惑星科学会

TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

**複写される方へ**

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写権等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

# 地球惑星科学関連学会連絡会ニュース

No. 19

(1999年12月)

## 記事：

- ・地球惑星科学関連学会2000年合同大会のお知らせ 2000年合同大会九州大学LOC
- ・地球惑星科学関連学会連絡会第18回会合議事録

## 地球惑星科学関連学会2000年合同大会のお知らせ

2000年合同大会九州大学LOC

会期：2000年6月25日（日）-28日（水）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

## ●地球惑星科学関連学会2000年合同大会 組織委員会

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻内

E-mail: loc2000-question@denji102.geo.kyushu-u.ac.jp

Fax.092-642-2685

## 各種登録開始・締切日

### ●講演登録

登録開始：2000年1月12日

最終締切：2000年3月3日午後5時

### ●参加登録

登録開始：2000年1月12日

最終締切：2000年4月14日午後5時

### ●青少年総合センターへの宿泊登録

登録開始：2000年2月1日

最終締切：2000年4月14日午後5時

上記の各種登録は下記の合同大会ホームページから行なっていただきます。

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2000/>

どうしても電子投稿・登録の手段が確保できない方は、下記にご連絡下さい。

## 目次

### §1 合同大会案内サマリー

### §2 セッション案内

### §3 個人情報登録, 支払登録, 参加登録, 講演登録, 宿泊登録

### §4 投稿費および参加費

### §5 青少年総合センターへの宿泊

### §6 大会組織委員会からのお知らせ

### §1 合同大会案内サマリー

下記のURLに2000年合同大会に関する情報および各種登録ページが置かれています。

合同大会ホームページ

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2000/>

詳しくは上記のホームページをご覧下さい。情報は随時更新しますので、参加者は是非、時々ご覧

いただくようお願い致します。

### § 1.1 各種の登録 (§ 3参照)

以下の登録はすべて上記ホームページから行なって下さい。

- 1) 個人情報登録
- 2) 支払登録
- 3) 参加登録
- 4) 予稿集原稿登録
- 5) 宿泊登録

1) ~3) は参加者全員に必須です。2)、3) を行なうためには、前もって1) が必要です。ただし、昨年度登録済の方は再度行う必要はありません。講演申し込みをされる方は1) ~3) に加えて4) 予稿集原稿登録を行なってください。共著の場合は、共著者についても1) が必要ですのでご注意ください。

会場の青少年総合センターへの宿泊を希望される方は、1) ~3) に加えて、5) 宿泊登録 (§ 5) を行なってください。

\* 当日発表される方も参加登録が必要です。昨年は参加登録をされずに、会場で直接発表される演者が多数いましたので、ぜひ事前登録されることをお勧めします。

### § 1.2 住所変更

プログラムおよび予稿集CD-ROMは、事前参加登録者のみに5月末頃に発送される予定です。転勤・卒業等で住所変更が生じた方は、合同大会ホームページ

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2000/>

上で、4月30日までに住所変更手続きを行なってください。

### § 1.3 各種登録締切日および費用

#### ● 予稿集原稿登録 (§ 4. 1参照)

締切：3月3日 (金) 午後5時

投稿費 (1件につき) : 1,000 ~ 5,000円

図の追加料金 : 1,000円

#### ● 参加登録 (§ 4. 2参照)

締切：4月14日 (金) 午後5時

参加費：一般 6,000円, 学生 3,000円

#### ● 宿泊登録 (§ 5参照)

締切：4月14日 (金) 午後5時

(但し、定員を超えた場合にはこの前に締め切られます。)

#### A コース (合同大会のみ参加される方用)

6月25日からの3泊4日固定スケジュールで

宿泊費 (一括) : 8,500 ~ 16,000円

#### B コース (合同大会とWPGMの両方に参加される方用)

6月25日からの5泊6日固定スケジュールで

宿泊費 (一括) : 13,660 ~ 23,800円

### § 1.4 保育希望の方へ

合同大会開催期間中に、1-6歳児の託児サービス (利用時間に応じて実費負担) をご希望の方は以下のアドレスまで、電子メールでご連絡ください。上記以外にも、0歳児のいらっしゃる方、就学児童をお連れの方なども別途ご相談に応じます。保育室についての質問なども承りますので、下記までご連絡ください。

2000年合同大会保育室実行委員会

幹事: 海洋科学技術センター

海底下深部構造フロンティア 木戸ゆかり

〒237-0061 横須賀市夏島町2-15

E-mail: kidoy@jamstec.go.jp

### § 2 セッション案内

講演要旨の投稿は、1~2月中に合同大会ホームページ (§ 3参照) 上で行なってください。最終締切りは3月3日 (金) です。暗くならないためスライドが使用できないセッション会場がありますの

で、講演申込みの時ご注意ください。電子投稿に関する質問は下記で受け付けます：（土日・祝日を除く）

●地球惑星科学関連学会2000年合同大会 登録事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目4番9号  
サンケイビル本館7階 株式会社ジェイコム内  
E-mail: earth@jtbcom.co.jp

Fax: 06-6456-4105

どうしても電子投稿の手段が確保できない方は下記にご連絡下さい。

●地球惑星科学関連学会2000年合同大会 組織委員会

〒812-8581福岡市東区箱崎6-10-1  
九州大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻内  
E-mail: loc2000-question@denji102.geo.kyushu-u.ac.jp

Fax.092-642-2685

§ 2.1 セッション一覧

それぞれのセッションについての問い合わせは、「合同大会ホームページ」に書かれている各セッションの連絡先へお願いします。上記ホームページに置かれているセッション一覧リストを以下に示します。

セッション記号: <和文短縮名> (連絡先学会) セッション申込者  
氏名

Aa: <地球史> (指定しない) 高野 雅夫

Ab: <地球内部物性・深部構造> (指定しない) 井上 徹

Ac: <放射性廃棄物地層処分> (指定しない) 吉田英一

Ad: <地学教育> (指定しない) 根本泰雄

Ae: <データの嵐> (指定しない) 林 祥介

Af: <衝突> (指定しない) 三浦保範

Ag: <地震関連電磁気現象> (指定しない) 長尾年恭

Ah: <対流> (指定しない) 中島健介

Ai: <地震総合フロンティア研究> (指定しない) 長尾年恭

Ca: <バクテリアバイオマーカー> (日本地球化学会) 鈴木德行

Cb: <地球表層炭素循環> (日本地球化学会) 川幡穂高

Da: <地殻変動> (日本測地学会) 田部井 隆雄

Db: <測地技術> (日本測地学会) 花田 英夫

Dc: <測地理論> (日本測地学会) 花田 英夫

Ea: <磁気圏・電離圏> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 品川 裕之

Eb: <電離圏・熱圏・中間圏> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 石井 守

Ec: <古地磁気・岩石磁気> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 小玉一人

Ed: <対流圏・成層圏> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 村山泰啓

Ee: <宇宙プラズマ> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 家森俊彦

Eg: <太陽圏> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 小島正宜

EH: <地球内部電磁気> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 歌田久司

Ei: <磁気圏構造とダイナミクス> (地球電磁気・地球惑星圏学会) 家森俊彦

Ga: <変形微細構造・物性> (日本地質学会) 金川久一

Gb: <古気候・古海洋> (日本地質学会) 多田隆治

Gc: <地質一般> (日本地質学会) 天野一男

Ka: <マントルプロセス> (日本岩石鉱物鉱床学会)  
小畑正明

Kb: <オフィオライト> (日本岩石鉱物鉱床学会)  
荒井章司

Ma: <地惑物質科学> (日本鉱物学会) 藤野清志

Mb: <鉱物物理化学> (日本鉱物学会) 赤松 直

Mc: <生命・水・鉱物相互作用> (日本鉱物学会)  
赤井純治

Pa: <天体核物理と太陽系科学> (日本惑星科学会)  
寺沢敏夫

Pb: <惑星物質科学> (日本惑星科学会) 永原裕子

Pc: <惑星科学> (日本惑星科学会) 倉本 主

Pd: <金星探査の科学> (日本惑星科学会) 今村 剛

Pe: <木星型惑星> (日本惑星科学会) 吉田 敬

Pf: <リング・ディスク系> (日本惑星科学会)  
吉田 敬

Qa: <第四紀> (日本第四紀学会) 鈴木毅彦

Sa: <地震発生の物理> (日本地震学会) 小菅正裕

Sb: <強震動/災害> (日本地震学会) 小菅正裕

Sc: <地震諸現象/地震一般> (日本地震学会)  
小菅正裕

Sd: <海半球観測研究の進展> (日本地震学会)  
飯高 隆

Se: <地殻構造> (日本地震学会) 小菅正裕

Sf: <リソスフェアの温度構造> (日本地震学会)  
山野 誠

Sg: <地盤構造/震動> (日本地震学会) 小菅正裕

Sh: <サイスモテクトニクス> (日本地震学会)  
小菅正裕

Si: <地震計測/解析法> (日本地震学会) 小菅正裕

Sj: <地震発生帯> (日本地震学会) 小平秀一

Sk: <地震活動> (日本地震学会) 小菅正裕

Sl: <活断層と古地震> (日本地震学会) 小菅正裕

Va: <マグマ> (日本火山学会) 中田節也

Vb: <火山活動> (日本火山学会) 中田節也

Xa: <青少年セミナー> (LOC) 島田允堯

Za: <フューチャーセミナー> (LOC) 島田允堯

### §3 個人情報登録, 支払登録, 参加登録, 講演登録, 宿泊登録

上記の全ての登録は §1 で書いた「合同大会ホームページ」にて行なって下さい。

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2000/>

登録内容は以下のとおりです：

1. 個人情報登録 (個人情報 ID 番号 取得)
2. 支払登録
3. 参加登録, 予稿集原稿登録, 宿泊登録

#### ●個人情報登録と個人情報 ID 番号

\* 昨年度個人情報登録をされた方：

ID番号は今年度も有効ですので再登録は必要ありません。

所属や身分が変わった方は「合同大会ホームページ」において個人情報変更を必ず行って下さい。ご自分のID番号やパスワードを忘れた方は「合同大会ホームページ」の「各登録方法について」にアクセスして問い合わせすることができます。

\* 昨年度個人情報登録されなかった方 (共著者を含む)：

まずは

個人情報登録

を行なっていただき、

個人情報 ID 番号

を取得して下さい。登録された個人情報は、個人情報 ID 番号によって参照され、参加登録、予稿集原稿登録、宿泊登録、支払登録 に利用されます。

この際、講演者だけでなく共著者も個人情報 ID 番号の登録が必要です。共著者の個人情報 ID 番号が登録されていない場合は、予稿集に共著者名が載らないこととなりますのでご注意ください。個人情報登録後は、著者リストには個人情報 ID 番号を入力するだけで OK です。共著者がすでに個人情報登録を済ませている場合は、ID 番号を「合同大会ホームページ」にて検索できます。

個人情報登録のために必要な情報としては以下を予定しています：

- 氏名（漢字，カタカナ，英語）姓と名別々に
- 所属学会（複数選択式）
- 所属機関名（漢字，カタカナ，英語）
- 所属機関名略称（漢字，英語）（表示用）
- 所属機関住所（漢字，英語）
- 身分（学生，一般 選択式）
- 学生証番号（学生の場合）（学生確認用）
- 一般の場合タイトル（教授，助教授，助手，等）
- TEL, FAX, E-mail

これらのデータは、次年度以降の合同大会への各種登録の基礎データとして保存される予定です。

#### ●支払登録

「合同大会ホームページ」をご覧ください。

#### ●参加登録，予稿集原稿登録，宿泊登録

詳細は § 1 に書いた「合同大会ホームページ」

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2000/>

をご覧ください。必要な情報は 1999 年大会とほぼ同じです。予稿集原稿は原則として、通常テキスト形式のみとします。図については、図処理用追加料金 1,000 円で受け付ける予定です。

#### ●プログラム編集作業

現段階では仕様は未定です。各セッションのセッションマスター 1 名（提案者，連絡先，コンビーナ等のうちの 1 人）が、プログラム編集用のホームページにて作業を行ないます。

## § 4 投稿費および参加費

クレジットカード払いまたは郵便振り込みが可能です。

### § 4.1 予稿集原稿登録料

受付日時

～2月 4日（金）午後5時	1,000円
～2月25日（金）午後5時	1,500円
～3月 1日（水）午後5時	2,000円
～3月 2日（木）午後5時	3,000円
～3月 3日（金）午後5時	5,000円

予稿集原稿に図を入れた場合の、図処理用追加料金は 1,000 円です。

### § 4.2 参加費

事前登録：4月14日（金）午後5時まで

一般	6,000円
学生	3,000円

当日登録：大会期間中の会場の総合受付にて、現金払いのみ。

（大会当日は午前8時30分～午後4時の予定）

一般	9,000円
学生	6,000円*

（学生の当日登録は、ホームページ上にある学生証明書に指導教官の印と必要事項を記入したものをその場で提出した場合のみ、認められます。無給の研究生も学生料金で受け付けますので、証明書を提出して下さい。）

予稿集原稿登録料と参加費は（センター宿泊の場合は宿泊費も）一括請求されます。クレジットカード払いの場合は登録したカードから自動的に引き落とされ、郵便振り込みの場合は4月14日以降に振り込み用紙が郵送されます。郵便振り込み期限は5月31日（水）です。



### § 4.3 取消手数料

●振込後、参加をとりけされても予稿集原稿登録料と参加費の返金はできませんので、あらかじめご了承ください。また、振込前に取り消される、または当日会場にこなかった場合、予稿集原稿登録に関しては大会後、請求書を送りますので必ずお支払いください。

●宿泊についてのみ、以下の取消手数料となっています。

2000年6月 9日（金）まで：無料

2000年6月10日（土）～15日（木）：1,000円

2000年6月16日（金）以降：全額（返金しない）

### § 5 青少年総合センターへの宿泊

大会会場の青少年総合センター附属の宿舎の宿泊予約の締め切りは4月14日です。但し、確保しました部屋数には限りがありますので、申し込み数が定員を超えた場合にはその前に締め切ることもあります。宿泊予約は以下のホームページ上でのみ行っており、郵便、FAX等ではできません。

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2000/>

宿泊は、合同大会のみ参加される方向けのAコースと合同大会とWPGMの両方に参加される方向けのBコースの2つのコースがあります。Aコースは6月25日から28日朝までの3泊一括のみ、Bコースは6月25日から30日朝までの5泊一括のみを受け付けます。チェックインはいずれのコースも6月25日にセンター棟103号室（当日の大会受付と同じ部屋）で午後5時から午後9時までに行ってください。午後9時以降のチェックインはできませんのでご注意ください。

部屋はすべて個室ですが、ビジネスホテルタイプ（バス・トイレ付き）とユースホステルタイプ（バス・トイレ共同でベッドメイキングは利用者が行う）の2種類があります。料金は以下の通りです。

#### Aコース

ビジネスホテルタイプ（朝食なし）	14,500円
ビジネスホテルタイプ（朝食付き）	16,000円
ユースホステルタイプ（朝食なし）	8,500円
ユースホステルタイプ（朝食付き）	10,000円

#### Bコース

ビジネスホテルタイプ（朝食なし）	23,800円
ビジネスホテルタイプ（朝食付き）	26,310円
ユースホステルタイプ（朝食なし）	13,660円
ユースホステルタイプ（朝食付き）	16,190円

\*上記宿泊料金は、合同学会九大LOCが担当する宿泊受け分の料金です。引続き開催されるWPGM期間中のみ宿泊される方には、WPGM実行委員会が別途宿泊プランを用意する予定です。なお、合同大会とWPGMでは宿泊受けに関わる諸経費等の違いにより宿泊料金が異なるかもしれませんので、ご了承ください。

### § 6 大会組織委員会からのお知らせ

#### § 6.1 電子化の継承および合同大会参加費・投稿料について

1999年の合同大会では、北大LOCの大変なご尽力により、今後どの機関がLOCを引き受けても、電子化による合同大会参加費・投稿ができる仕組みを目指した構築がなされました。今年度もこの方式を継承しました。機関によっては設備の整合性や操作入力量の点で、皆様に不自由やご迷惑をお掛けしたり、戸惑いを与えることも多々あることと想われますが、今後の合同大会の円滑な運営のために、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

今回の大会でも、締切間際の事務量の集中を避けるために予稿集原稿登録料と参加費の傾斜方式を採用することにしましたが、この傾斜は前回と同様にきつくなっています。参加費の値上げを1000円しましたが、今年度も従来どおり学生会員

の登録費は安くしています。学生かどうかの同定のために、学生にとっては手続きが少し増えていますが、合同学会の主旨をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

### § 6.2 合同大会当日の受付時間について

合同大会期間中の受け付けは、以下の時間に開設する予定です。

#### 大会前日

24日(土) 受付デスクは開かない

#### 大会期間中の受付

25日(日) AM 8:30~PM 4:00 センター棟 103号室

26日(月) AM 8:30~PM 1:00 センター棟 103号室

PM 1:00~PM 4:00 センター棟 107号室

27日(火) AM 8:30~PM 4:00 センター棟 107号室

28日(水) AM 8:30~PM 4:00 センター棟 107号室

#### 宿泊施設のチェックイン

25日(日) PM 5:00~PM 9:00 センター棟 103号室

### § 6.3 懇親会場

ポスター会場近くのレセプションホールに最終日を除く毎夕、コーヒーなどを飲みながら議論・歓談できる空間を設ける予定です。

### § 6.4 展示申請

個人・企業などによる機器・書籍などの展示を希望される方は、「地球惑星科学関連の学術刊行物・最新機器展示会」の形で計画しております。詳細は、後日ホームページ上に案内掲示予定ですが、次の項目を文書に明記して、3月末までに申請して下さい。

- (1) 貴社名および所在地
- (2) 担当の方の所属部署、お名前、電話、Fax、E-mail等
- (3) 展示内容、必要スペース等

(宛先)

〒855-0843 長崎県島原市新山2-5643-29

九州大学 大学院理学研究科 島原地震火山観測所内  
合同大会組織委員 企業展示担当 (松島 健)

Tel. 0957-62-6621 Fax.0957-63-0225

E-mail. mat@sevo.kyushu-u.ac.jp

### § 6.5 合同大会会場における会合申込みの募集

合同大会会期中に会合・集会を行う団体の部屋使用希望の申し込みを、引き続き受け付けております。申し込みは以下の5項目を明記の上、4月末日までに九大LOC会場係 (loc2000-service@geo.kyushu-u.ac.jp) までメールにてお願いいたします。WWW上では申し込みません。

- 1) 会合名称
- 2) 申込み責任者とそのメールアドレス
- 3) 希望する部屋の大きさ (下表参考)
- 4) 希望する時間 (開始・終了時刻)
- 5) 食事の希望 or 不要

今回は、原則的にすべての会合から会場費を徴収することになりましたのでご留意下さい。会場費については下に示した通りです。会場費の徴収は、代々木センターの部屋使用料が決して安くはないこと、当日全く使用しない部屋についてはキャンセルすることによってセンターに支払う会場費を抑えていることを踏まえて、会合主催者の受益者負担として請求するという趣旨に基づくものです。

また今回はWPGMと平行開催のため部屋数が限定されており、申し込みをされても必ずしも希望に沿えない場合があること (特に大人数の部屋や食事可能な部屋を希望される場合) をご了解いただき、早めに申し込みいただくようお願いいたします。

徴収する会場費の料金 (1コマ当たり) は以下の通りです。

定員150人を越える ￥10000

定員150人まで ￥7000

定員 80人 ￥4000

定員 40人 ￥2000

定員 20人 ￥1000

定員 80人(食事可能) ￥16000(部屋代のみ)

定員 20人(食事可能) ￥4000(部屋代のみ)

部屋の有効利用のために2時間までを1コマの単位とします。また定員は部屋にある椅子の数です。会合申し込みについてご不明の点がございましたら、遠慮なく会場係までお問い合わせ下さい。

### § 6.6 2000年合同大会組織委員会の構成と連絡先

大会委員長：柳 哮> yanagi@geo.kyushu-u.ac.jp

実行委員長：湯元清文> yumoto@geo.kyushu-u.ac.jp

企画委員長：島田允亮> nshimada@geo.kyushu-u.ac.jp

企画委員：山内敬明> nyama@geo.kyushu-u.ac.jp

並木則行> nori@geo.kyushu-u.ac.jp

広報委員長：鈴木貞臣> suzuki@geo.kyushu-u.ac.jp

広報委員：川瀬 博> kawastar@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

松島 健> mat@sevo.kyushu-u.ac.jp

印刷物担当：中村智樹 <tomoki@geo.kyushu-u.ac.jp>，

北島 富美雄 <kitajima@geo.kyushu-u.ac.jp>，

情報化委員長：関谷 実> sekuya@geo.kyushu-u.ac.jp

情報化委員：吉岡祥一> yoshioka@geo.kyushu-u.ac.jp

三好勉信> miyoshi@rossby.geo.kyushu-u.ac.jp

中島健介> ken-suke@deepconv.geo.kyushu-u.ac.jp

経理委員長：中田正夫> mnakada@geo.kyushu-u.ac.jp

経理委員：池田 剛> ikeda@geo.kyushu-u.ac.jp

大会幹事長：飯島 健> iijima@geo.kyushu-u.ac.jp

受付担当：佐野弘好> sano@geo.kyushu-u.ac.jp

会場担当：石橋純一郎> ishi@geo.kyushu-u.ac.jp

ポスター担当：山内敬明> nyama@geo.kyushu-u.ac.jp

機材担当：宮本知治> miyamoto@geo.kyushu-u.ac.jp

アルバイト担当：守田 治> morita@weather.geo.kyushu-u.ac.jp

宿泊担当：竹中博士> takenaka@geo.kyushu-u.ac.jp

亀 伸樹> kame@geo.kyushu-u.ac.jp

保育室担当：並木則行> nori@geo.kyushu-u.ac.jp

企業展示担当：松島 健> mat@sevo.kyushu-u.ac.jp

プログラム委員長：

村江達士> murae@geo.kyushu-u.ac.jp

LOCプログラム委員：

高岡宣雄> takaoka@geo.kyushu-u.ac.jp

伊藤久徳> itoh@weather.geo.kyushu-u.ac.jp

河野英昭> hkawano@geo.kyushu-u.ac.jp

学会選出プログラム委員

#### ★地球化学会

中井俊一 E-mail: snakai@eri.u-tokyo.ac.jp

石橋純一郎 E-mail: ishi@geo.kyushu-u.ac.jp

#### ★測地学会

花田英夫 E-mail: hanada@miz.nao.ac.jp

田部井隆雄 E-mail: tabei@cc.kochi-u.ac.jp

#### ★地球電磁気・地球惑星圏学会

早川 基 E-mail: ayakawa@stp.isas.ac.jp

綱川秀夫 E-mail: htsuna@geo.titech.ac.jp

#### ★地質学会

佐野弘好 E-mail: sano@geo.kyushu-u.ac.jp

坂井 卓 E-mail: taku@geo.kyushu-u.ac.jp

## ★岩鉱学会

有馬 眞 E-mail: arima@ed.ynu.ac.jp

池田 剛 E-mail: ikeda@geo.kyushu-u.ac.jp

## ★鉱物学会

藤野 清 E-mail: fujino@cosmos.sci.hokudai.  
ac.jp

松井正典 E-mail: matsui@geo.kyushu-u.ac.jp

## ★惑星科学会

倉本 圭 E-mail: keikei@neko.lowtem.hokudai.  
ac.jp

中村智樹 E-mail: tomoki@geo.kyushu-u.ac.jp

## ★第四紀学会

中村俊夫 E-mail: g44466a@nucc.cc.nagoya-u.  
ac.jp

鹿島 薫 E-mail: kashima@geo.kyushu-u.ac.jp

## ★地震学会

竹中博士 E-mail: takenaka@geo.kyushu-u.ac.jp

鷺谷 威 E-mail: sagiya@gsi-mc.go.jp

## ★火山学会

中田節也 E-mail: nakada@eri.u-tokyo.ac.jp

清水 洋 E-mail: shimizu@sevo.kyushu-u.ac.jp

## ★資源地質学会

今井 亮 E-mail: akira@tsunami.geol.s.u-  
tokyo.ac.jp

本村慶信 E-mail: ymoto@geo.kyushu-u.ac.jp

## ●お問い合わせ先

## ■大会全般・大会プログラムなど内容に関して

地球惑星科学関連学会2000年合同大会 組織委員会

〒812-8581福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻内

E-mail: loc2000-question@denji102.geo.kyushu-  
u.ac.jp

Fax.092-642-2685

## ■参加登録・予稿集原稿登録など実務作業に関して

地球惑星科学関連学会2000年合同大会 登録事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目4番9号

サンケイビル本館7階 株式会社ジェイコム内

E-mail: earth@jtbcom.co.jp

Fax.06-6456-4105

(お問い合わせ受付時間)

月曜日～金曜日 9:30～18:00 (土日・祝日を除く)

時間外にいただきましたお問い合わせにつきましては  
は返答が次営業日になりますのでご注意ください。地球惑星科学関連学会連絡会第  
18回会合議事録

日 時：1999年（平成11年）6月10日（木）

18:10-20:30

場 所：国立オリンピック記念青少年センター  
C309号室

出席者：35名

資源地質学会；森下 祐一

地球電磁気・地球惑星圏学会；綱川秀夫，

早川 基，小野高幸，岩上直幹

日本海洋学会；吉田次郎

日本火山学会；津久井雅志

日本岩石鉱物鉱床学会；大谷栄治，吉田武義

日本気象学会；住 明正

日本鉱物学会；村上 隆，土山 明

日本地震学会；飯高 隆，島崎邦彦，小菅正裕

日本測地学会；加藤照之，小菅俊宏

日本地球化学会；篠原宏志（欠席）

日本地質学会；公文富士夫

日本惑星科学会；阿部 豊，田近英一

日本第四紀学会；中村俊夫

日本水文科学会；鈴木裕一

1999年合同大会実行委員会；島村英紀，

字井忠英，渡部重十，林 祥介，山本哲生

2000年合同大会実行委員会；柳 喙，湯元清文，

村江達士，島田允亮，関谷 実

2000年WPGMプログラム委員長；佐竹健治  
地球惑星科学関連学会合同大会運営事務局長；  
本蔵義守  
地球惑星科学関連学会連絡会幹事；坪井誠司

## 地質学会

1999年 年会：1999年10月9日～11日 名古屋  
2000年 総会：2000年春；つくば（予定）  
2000年 年会：2000年9月28日～10月1日

島根大学

## 議題

### I. 承認事項

#### 1. 前回の議事録（案）確認

原案どおり承認した。

### II. 報告事項

#### 1. 各学会からの報告。

各学会の今後の予定については以下の通り。

#### 惑星科学会

1999年度秋季講演会 11月13日～15日 仙台

#### 鉱物学会

1999年9月23日～9月26日 茨城大学  
岩石鉱物鉱床学会と鉱物学会を同時に開催する。

#### 岩鉱学会（鉱物学会と同時開催）

1999年9月23日～9月26日 茨城大学

#### 測地学会

1999年11月9日～11月11日岐阜県根尾村  
GPS国際シンポジウム 1999年10月18日～22日  
つくば国際会議場

主催：測地学会，地震学会，火山学会他

#### 地球電磁気・地球惑星圏学会

1999年11月9日～11月12日東北大

#### 火山学会

1999年10月9～11日講演会（神戸大学），  
11-12日現地討論会（神鍋火山）の予定  
2000年秋は茨城大の予定  
2001年秋は鹿児島大学の予定

#### 地球化学会

1999年9月29-10月1日（地質調査所）

#### 地震学会

1999年11月17日～11月19日 仙台市

## 気象学会

1999年春季大会 4月26日～28日 東京

## 日本海洋学会

1999年度秋季大会 1999年9月16日～20日

北海道大学水産学部（函館）

2000年度春季大会 2000年3月27日～31日

東京水産大学（東京）

## 資源地質学会

1999年度年会6月16日～18日 東京

資源地質学会シンポジウム

「海底熱水活動研究の現状とその鉱床探査への  
応用」

1999年6月17日午後 東京

## 水文科学会

1999年6月頃（場所未定）

## 第四紀学会

1999年8月23日～25日 京都大学

## III. その他の報告及び審議事項

### 1) 1999年度合同大会について（渡部）

北大LOCから1999年合同大会の実施状況について報告があった。

#### (a) 事務局（渡部）

投稿した人数は1593人，事前登録は一般が910人，  
学生が531人で計1441人である。当日登録は10日現  
在で一般555人，学生252人で全体では2248人であ  
る。Webで受付をしたことにより当日の受付は楽  
になった。現在の見積もりでは予算をオーバーす  
る可能性がある。以上の報告に対し，特に，登録  
料を払わない参加者や，講演者がいるので，それ  
らに対する処置をより厳格にすべきではないかと

の意見があった。

2) WPGM2000及び2000年合同大会について  
(湯元, 佐竹)

現在合意されている日程は以下の通り。

2000年合同大会

日程：2000年6月25日（日）～28日（水）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

2000年WPGM

日程：2000年6月27日（火）～30日（金）

場所：同上

このうち、27, 28日は会場は半分ずつとする。

a) 合同大会について (湯元)

九州大学でLOCを立ち上げた。北大LOCから九大LOCへの引継を11日15:00より行う。登録料については、WPGMを続けて開催することにより参加者の減少が見込まれるので値上げを考慮中であり、次回の連絡会で提案したい。

b) WPGMについて (佐竹)

7日にプログラム委員と実行委員の会合を持ち、今後の準備の進め方について確認した。組織委員長は入倉氏となった。実行委員長については連絡会で選出してほしい。合同大会期間中にAGU側と非公式な会合を持ち、日本側との分担について議論した。その結果、財政的負担はすべてAGUが引き受け、日本側の実行委員会は会場の手配やsocial programなどについて引き受けることになった。プログラム委員会では今後セッションの募集を行い、合同大会とのセッションの分担について各学会に協力をお願いすることになる。

以上の報告に基づき議論した。実行委員長については今後の連絡会体制とも関連するので次の議題で議論することになった。

3) 2001年以降の合同大会及び連絡会事務局の体制について

前回の連絡会で事務局長、幹事、前幹事より提案した会則（案）について各学会での議論の結果をまとめた。その結果、提案された会則（案）を承認する学会が過半数を占めたが、慎重な対応を求める意見も出たので、現在の運営要綱の第7条に基づいた形で幹事会を作り、そこで、2001年以降の合同大会の運営体制と、連絡会の運営体制としての会則のたたき台を作ることになった。幹事会のメンバーは議論の結果以下の通りになった。

会 長：大谷栄治

庶 務：綱川秀夫

渉外担当：吉田武義

会 計：津久井雅志

ニュースレター担当：原 辰彦

次期合同大会LOC：湯元 清文

オブザーバー：林 祥介、渡部重十、加藤照之、  
坪井誠司

WPGM実行委員長については、改めて議論したが、結論がでなかったため、再度組織委員長に選考を依頼することとなった。

4) 次回連絡会は、次回合同大会会期中に開催する。

日程は9月29日13:00～ 国立青少年センター  
(代々木)

地球惑星科学関連学会連絡会ニュース 第19号  
1999年12月11日発行

発 行：地球惑星科学関連学会連絡会  
連絡会幹事会会長 大谷栄治  
編 集：地球惑星科学関連学会連絡会  
連絡会幹事会ニュースレター担当 原辰彦

## 学会誌原稿作成の手引

日本惑星科学会編集専門委員会

### 1. 原稿の様式

はじめに委員長宛に投稿するときはプリントアウトした原稿2部、最終稿では原稿2部（1部に字体、図表の位置指定）とテキストファイルを提出すること。原稿は、原則として、ワープロにより作成されたものとする。また、テキストファイルはフロッピーまたは電子メールで送付のこと。テキストファイル以外の場合には事前に編集幹事に相談のこと。

### 2. タイトル

記事のタイトルは15字以内。また、タイトル、筆者名及び所属を和文・英文両方で付す。

### 3. セクション

セクションは1., 2., ..., サブセクションは1.1, 1.2, ..., 細区分は(1), (2), ..., の記号を頭に於て、左寄せ、行末改行とする。また文中での区分けは(a), (b), (c)を用いる。これら記号はすべて半角文字を用いる。セクションタイトルは12文字以内で簡潔に、また、セクションタイトルとして“はじめに”、“おわりに”、“まとめ”は避ける。

### 4. 述語

専門用語はなるべく避けるか、十分な説明をつける。特に、対応する日本語がある場合、英語・英略語は使わない。

### 5. 字体

数字、英字は半角とする。また(, ), [, ], :, ;など区切り記号も半角を用いる。本文は立体(ローマン)、数式はイタリックで組む。本文中のイタリックは下線、数式中の立体(ローマン)は2重下線、ゴチック(ボールド)は鼓下線で朱記指定する。

### 6. 単位

使用単位については特に統一しない。ただし、 $\text{gcm}^3$ ,  $\text{cms}^{-1}$ などとはせず、 $\text{g/cm}^3$ ,  $\text{cm/s}$ とする。

### 7. 句読点

句読点は全角の“,”、“.”を用いる。

### 8. 図、表、画像

文中での図表の引用は“図1”、“表2”の形をとる。最終項送付に際して、図表、画像の刷り上がり時の大きさと位置を指定のこと。画像の投稿については、1) 写真の場合：印刷時実寸以上のサイズで鮮明なもの、2) 画像ファイルの場合：印刷時実寸で350dpi相当以上、形式はtiffが望ましい。他の文献から図表を転載する場合には予め編集委員会に照会のこと。

### 9. 脚注

脚注は“1”などの記号をつける。

### 10. 文献の引用

引用文献は重要なものに限る。目安として10項目以内にする。本文中での引用は[1], [2]の形で通し番号をつけ、論文の末尾に一括してリストを載せる。使用言語は原論文に従い。論文名は省略する。3人以上の著者はet al.または他と表記する。形式は以下に従う。

参考文献

[1] Wakusei, T. and Kinsei, S., 1989: *Astrophys.* **220**, 293-330.

[2] Wakusei, T. et al., 1999: *J. Geophys. Res.* **123**, 4567-4572.

[3] 惑星太郎, 1992: *天文月報* **85**, 186-190.

### 11. 原稿の送付先

投稿時の原稿送付先は

152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科

地球惑星科学専攻 井田 茂

FAX: 03-5734-3538

E-mail: ida@geo.titech.ac.jp

最終稿の送付先は

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻

倉本 圭

FAX: 011-746-2715

E-mail: keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp